

各教育事務所の調査結果

八代教育事務所

- 1 教科に関する調査結果と分析
- 2 質問紙調査結果と分析
- 3 今後の取組

1 (1) 小学校の成果と課題

成果

国語 成果が見られた内容

文の中における主語をとらえること
関連問題 A2二
登場人物の行動を基にして、場面の移り変わりを捉えること
関連問題 B3一

算数 成果が見られた内容

除数が整数である場合の分数の除法の計算をすることができる
関連問題 A2(4)
四捨五入して千の位までのおよその数にして計算することができる
関連問題 B4(1)

理科 成果が見られた内容

メダカの雌雄を見分ける方法を理解している
関連問題 2(1)

課題

国語 課題が見られた内容

新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉えること
関連問題 A5二
文章と図を関係付けて、自分の考えを書くこと
関連問題 B2三

算数 課題が見られた内容

加法における計算の確かめの方法を理解している
関連問題 A1(3)
示された二組の道のりが等しくなる根拠として、図形を見だし、その図形の性質を記述できる
関連問題 B1(3)

理科 課題が見られた内容

方位を判断するために、観察した事実と関係づけながら情報を考察して分析できる
関連問題 4(1)

1 (2) 中学校の成果と課題

成 果

国語 成果が見られた内容

適切な語句を選択すること(彼女は、学級の縁の下 の力持ちといえる存在だ)

関連問題 A9三工

文章の最後の一文があった方がよいかどうかについて、話の展開を取り上げて自分の考えを書くこと

関連問題 B

算数 成果が見られた内容

小数を含む一元一次方程式を解くことができる

関連問題 A3(2)

必要な情報を選択して的確に処理し、その結果を事象に即して解釈することができる。

関連問題 B1(2)

理科 成果が見られた内容

天気の記事から風力を読み取ることができる

関連問題 2(1)

課 題

国語 課題が見られた内容

用いられている表現の工夫として適切なものを選択すること

関連問題 A3一

雑誌の記事に書かれていることとして適切なものを選択すること

関連問題 B2一

算数 課題が見られた内容

数量の関係を文字式に表すことができる

関連問題 A2(2)

証明を振り返り、新たな性質を見出すことができる

関連問題 B1(3)

理科 課題が見られた内容

オームの法則を使って、抵抗の値を求めることができる

関連問題 5(1)

2 (1) 児童・生徒質問紙調査結果

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位 (%)

	質問項目 (県と全国との差が顕著な17項目を抜粋)	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
等 関心	1. 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	63.0	65.5	65.8	54.6	56.3	58.0
(言語活動・学習状況) 学習状況	2. 友達の前で、自分の考えや意見を発表することは得意ですか	46.9	50.2	51.2	40.0	43.6	49.6
	3. 5年生(中学2年生)までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	71.0	74.7	74.2	65.6	65.1	65.7
	4. 5年生(中学2年生)までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか	90.3	89.0	87.1	84.2	83.1	73.7
	5. 小学5年生(中学2年生)までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	73.6	77.6	75.3	62.9	60.1	59.3
学習時間等	6. 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師も含む) 1時間以上の合計	60.3	63.8	56.7	70.7	75.7	68.7
	7. 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	57.6	61.2	62.8	42.0	43.8	48.8
	8. 家で、学校の授業の予習をしていますか	39.5	41.3	43.4	16.6	29.9	35.3
	9. 家で、学校の授業の復習をしていますか	59.3	60.3	54.5	44.0	53.0	52.0

2 (1) 児童・生徒質問紙調査結果

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目 (県と全国との差が顕著な 1 7 項目を抜粋)	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
生 学 校 活	10.あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っ て学級のきまりなどを決めていると思いますか	74.7	78.3	80.5	74.0	77.1	78.3
生 活 慣 習	11.普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通 話やメール、インターネットをしますか(2時間より少ない+持って いない)	91.1	92.2	90.2	74.5	75.3	68.4
地 域	12.今住んでいる地域の行事に参加していますか	73.5	73.5	66.9	49.2	40.8	44.8
社 会	13.テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか	81.3	82.8	84.3	83.2	82.8	83.9
将 来	14.将来の夢や目標を持っていますか	85.2	87.6	86.5	70.7	71.4	71.7
自 尊 意 識	15.ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	93.0	94.4	94.5	94.6	93.9	94.2
	16.難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	73.0	75.9	76.4	64.0	64.2	68.8
意 規 識 範	17.いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.5	96.8	96.2	94.5	94.7	93.7

2 (2) 学校質問紙調査結果

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。 単位(%)

	質問項目 (県と全国との差が顕著な18項目を抜粋)	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
向上力	1. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか	30.8	46.7	61.1	41.2	56.2	80.2
指導方法	2. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか	100	97.0	93.9	82.4	91.1	90.9
	3. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導しましたか	100	96.1	94.1	58.8	85.8	81.9
	4. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童(生徒)一人一人のよい点や可能性を見付け、児童(生徒)に伝えるなど積極的に評価しましたか	100	96.4	96.7	94.1	96.4	95.8
言語活動	5. 調査対象学年の児童(生徒)は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	61.5	63.0	66.1	52.9	55.6	67.3
	6. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	100	95.3	94.3	82.4	92.9	92.1
	7. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	84.6	76.0	73.0	52.9	59.2	63.3
	8. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか	92.3	89.0	85.9	76.5	76.3	78.1
	9. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか	92.3	94.2	91.9	64.7	85.2	87.8

2 (2) 学校質問紙調査結果

数値は、選択肢「よく行った」「どちらかといえば、行った」などの肯定的評価の合計を示す。

単位 (%)

	質 問 項 目 (県と全国との差が顕著な 1 8 項目を抜粋)	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
援 特 教 別 育 支	10. 特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の生徒に対する授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫 (板書や説明の仕方、教材の工夫など) を行いましたか	96.2	93.9	89.2	82.4	93.5	86.3
導 個 別 指	11. 調査対象学年の児童 (生徒) に対して、算数・数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	38.5	40.1	32.4	29.4	37.9	25.3
家 庭 学 習	12. 調査対象学年の児童 (生徒) に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか (国語 / 数学共通)	92.3	78.4	79.5	70.6	61.6	66.1
	13. 調査対象学年の児童 (生徒) に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか (国語 / 算数・数学共通)	88.5	84.8	87.1	64.7	77.5	78.5
調 査 等 の 活 用	14. 平成 2 6 年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	100	97.8	95.8	100	94.1	93.2
	15. 平成 2 6 年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか (学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)	92.3	86.5	88.0	82.4	81.7	83.9
	16. 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	100	97.3	91.9	94.1	92.9	87.9
職 員 研 修	17. 模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	96.2	96.6	95.5	88.2	92.4	87.5
	18. 授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか (年間 9 回以上)	65.4	70.4	49.4	47.1	56.3	34.5

2 (3) 質問紙調査に関する分析

各学校における読書指導及び学校図書館の整備の成果により「1日にどれくらい読書をするか」という項目については、小・中学校ともに県及び全国平均を大きく上回っているが、「『朝読書』などの一斉読書の時間を設けたか」という項目については、小・中学校ともに県及び全国平均を大きく下回っている。

各学校の授業の工夫・改善の努力により「学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書く」という項目については、児童・生徒質問紙は、小・中学校ともに県及び全国平均を上回ったが、学校質問紙は、中学校が県及び全国平均を大きく下回った。前年度、中学校は学習の目標（めあて・ねらい）は100%であったので、まだまだ「まとめ」を書くことが不十分であると考えられる。また、小・中学校ともに児童・生徒質問紙と学校質問紙の結果に大きな差がある。

「授業の最後に学習したことを振り返る」という項目については、児童・生徒質問紙では小学校は県及び全国平均を下回り、中学校が県及び全国平均を僅かながら上回った。学校質問紙では、小学校は100%であったが、中学校は県及び全国平均を大きく下回った。また、小・中学校ともに児童・生徒質問紙と学校質問紙の結果に大きな差がある。

「友達の前で、自分の考えや意見を発表することは得意ですか」という項目については、児童・生徒質問紙では、小・中学校ともに県及び全国平均を下回っている。また、学校質問紙において、中学校の言語活動に関する項目が5項目中4項目が県及び全国平均を下回っている。各教科等の目標達成につながる言語活動の充実を指導してきたが、各学校における取組が不十分であると考えられる。

昨年度、「家庭学習の習慣化と質の向上」を重点的に指導してきたが、児童・生徒質問紙の「学習時間等」の項目では、小・中学校ともに、ほとんどの項目で県及び全国平均を下回っており、自主的に計画性をもって家庭学習ができていないことがわかる。一方、学校質問紙の「家庭学習」の項目では、小学校が2項目とも県及び全国平均を大きく上回り、中学校は2項目中1項目が県及び全国平均を上回っており、児童・生徒質問紙と、学校質問紙の結果に大きな差がある。

小中連携のもと、熊本型授業の質を高める取組の中で、「学ぶ意欲」を高める指導方法の工夫や個に応じた指導方法の工夫を指導してきた結果、学校質問紙の「生徒の特性に応じた指導上の工夫」は、小学校では県及び全国平均を上回ることができたが、中学校では県及び全国平均を下回った。

全国学力・学習状況調査等の活用については、学校質問紙の「調査等の活用」において小・中学校ともにほとんどの項目で県及び全国平均を上回っており、管理職の意識の向上とともに学校総体での取組となりつつある結果と考える。

3 今後の取組

市町教育委員会や学校の努力で、読書時間は伸びているが、個人差が大きい。1か月に1冊も本を読まない児童生徒の数を減らすために、『朝読書』などの一斉読書の時間を設けて、読書活動の一層の充実を図るよう、校長会議や学校訪問等において指導する。

「肥後っ子輝きナビ」の活用の意識は高まってきた。今後、調査等の結果が効果的に活用できるように、教務主任研修会等での説明を行い、成果につながるような取組を推進する。

「学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書く」や「授業の最後に学習したことを振り返る」活動については、教師が「指導したつもり」で終わるのではなく、活動の徹底を図り、児童生徒に活動の意味を確実に理解させるとともに、成果についてももしっかり自覚させるよう指導する。

本年度は、UDの視点に立った「分かる授業」づくりを推進しており、今後さらに、すべての児童・生徒が主体的に学び、達成感を味わえる授業づくりを指導する。

学校訪問・校内研修・各種研修会において、各学校における協働・協調的な学びの充実を図るための指導を行う。その中で、友達の前で、自分の考えや意見を、根拠を明らかにして言えるように、考える時間やまとめる時間を確保したり、ペア学習やグループ学習等の学習形態を工夫するなど、各教科等の目標達成につながる言語活動のさらなる充実を図るよう、指導する。

八代管内の学力に関する課題を解決するために八代教育事務所管内小・中学校の指導力のある教諭をもって組織した八代管内学力向上プロジェクトにおいて、児童生徒の学習意欲が向上・持続するような、授業と授業を効果的につなぐ家庭学習の課題や評価等の工夫の在り方について研究を行い、その成果については、公開授業及び研究会等を行い、八代管内の教職員に広く提案する。